

16. 力をいれるべき生涯学習の振興方策

表10は、今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、大津市はどのようなことに力をいれるべきだと考えているのかをみたものである。

表10 力をいれるべき生涯学習の振興方策

住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること	40.9
生涯学習の専門職員（社会教育主事、司書、体育指導員など）を育成すること	14.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成すること	25.2
生涯学習に関する情報を得やすくすること	53.5
子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと	17.9
学校図書館などの学校施設を地域に開放すること	11.9
団体や個人のボランティア活動を支援すること	19.1
生涯学習を通じて身に付けた成果や、その成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進すること	15.0
企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること	18.7
その他	4.0

(%)

その結果、「生涯学習に関する情報を得やすくすること」をあげた人の率が53.5%でもっとも高く、次いで「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること（40.9%）」、「生涯学習を支援する地域の人材を育成すること（25.2%）」の順となっていた。

これを性・年代別にみたのが表11である。

まず、性別にみる。その結果、男女とも「生涯学習に関する情報を得やすくすること」をあげた人の率がもっとも高く、次いで「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること」、「生涯学習を支援する地域の人材を育成すること」の順となっていた。

次に、年代別にみる。その結果、すべての年代で「生涯学習に関する情報を得やすくすること」をあげた人の率がもっとも高く、次いで「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること」であることは共通していたが、次いで、「成人前・中期」の人では「企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること」、「成人後期」の人では「生涯学習を支援する地域の人材を育成すること」となっていた。

また、年代で比較すると、「子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと」では「成人前期」の人の、「企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度

などを普及させること」では「成人前・中期」の人の、「生涯学習に関する情報を得やすくすること」と「住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること」では「成人中期」の人の、「生涯学習を支援する地域の人材を育成すること」と「団体や個人のボランティア活動を支援すること」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

表 11 性・年代別にみた力をいれるべき生涯学習の振興方策

	性		年 代		
	女性	男性	成人前期	成人中期	成人後期
住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること	43.2	40.7	43.6	48.1	38.8
生涯学習の専門職員（社会教育主事、司書、体育指導員など）を育成すること	14.8	15.5	10.5	15.7	15.8
生涯学習を支援する地域の人材を育成すること	25.9	26.1	16.5	22.4	30.0
生涯学習に関する情報を得やすくすること	56.2	53.6	54.9	65.0	50.2
子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと	20.3	15.7	28.6	14.9	18.3
学校図書館などの学校施設を地域に開放すること	10.9	14.2	17.3	12.0	11.3
団体や個人のボランティア活動を支援すること	19.1	20.5	10.5	17.2	23.0
生涯学習を通じて身に付けた成果や、その成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進すること	15.8	15.0	11.3	18.7	14.8
企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること	19.5	18.3	31.6	27.4	12.1
その他	3.2	5.2	4.5	4.1	3.9

(%)